

【学校教育目標】

「**き**たえ **や**りぬき **ま**なびあう」

～自ら考え、行動する生徒の
育成を目指して～

に い く さ 新 草

基山町立基山中学校 学校だより

令和4年9月22日(木)

文責 校長 高木 健 NO.13



3年もみじ饅頭

無事に終了しました!



2年職場体験



1年自作カレー

台風一過の青空が広がり、空気も少しひんやりとしてきました。先週は9月14日～15日で3年生は広島・宮島方面へ修学旅行、1年生は黒髪少年自然の家で宿泊研修、2年生は14日～16日で職場体験を実施しました。新型コロナウイルス感染症への対策を行いつつ、各学年の大きな行事を無事に終えることができよかったです。ここまでのところ、体調不良者の報告もありません。生徒が楽しみにしている学校行事が行えたのも、保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力のおかげであると思っています。本当にありがとうございました。

3年生「平和への祈り」



3年生は14日にまず広島平和公園で原爆の子の像を前にして「平和集会」を行い、平和への祈りを捧げると共に、折り鶴を献納しました。その後、昼食を食べ、被爆体験講話を聞きました。

「平和集会」では基山中学校の平和宣言の誓いを3年生全員で唱和しました。平和宣言に込められた思いは熱く、重いものだと感じました。最後のことば、「平和な世の中を作り続けていくことを誓います。」をぜひ忘れずにいてほしいです。当日の広島市内はとても暑かったのですが、真摯に祈りを捧げる3年生の姿は立派でした。バスガイドの方も3年生の姿に感動してありました。

被爆体験講話では、6歳で被爆された岸田弘子さんにお話しをしていただきました。8月6日のことはよく覚えてあり、便所にいたときに原子爆弾が炸裂し、わずかながれきの隙間にはさまっていたおかげで九死に一生を得られたとのことでした。広島市内から逃げる時は裸足でしたが、あまりの惨状に驚き、ガラスが刺さっているにも関わらず、その痛さを感じなかったそうです。

3000℃～4000℃の熱線、秒速280mの爆風、目に見えない放射線、これらの被害を広島の街が一瞬にして受けました。平和祈念資料館で当時の写真などを見ましたが、その時の状況は想像を絶するものがあると感じました。今の日本では到底考えられないことですが、ウクライナでは現に戦争が起きており、空襲警報におびえ、爆弾やミサイルにおびえて生活している人がまだまだたくさんいます。

3年生の皆さんは、広島で何を感じたのでしょうか？今回の平和の祈りを広島への祈りだけにとどめず、世界平和に向けて祈り続けてほしいと思います。次の平和の世の中は今の若い世代、皆さんの手の中にあります。



元安川越しに原爆ドームをのぞむ



平和集会の様子

「平和とは、安心して生活できること。『行ってきます』『お帰りなさい』のことばが聞けること。」

被爆体験証言者 岸田弘子



安芸の宮島へ



甲子園球場では広島代表の高校のアルプスタンドでしゃもじの音が鳴り響く…。「カチ、カチ、カチ」(しゃもじの音)「勝ち、勝ち、勝ち」…。



社殿から大鳥居を臨む



満ち潮に浮かぶ厳島神社

広島市内のあとは「宮島」へ向かいました。「あきの宮島」と言われますので、小さい頃は「宮島は秋にしか行けないんだ～」と思っていました…。(漢字は「安芸」です。もちろん秋の紅葉も素晴らしいそうです!)宮島と言えば海に浮かぶ大鳥居(残念ながら令和の大改修中)と美しい厳島神社の社殿です。到着時は引き潮でしたが、二日目には潮も徐々に満ちてきました。宮島では、弘法大師ゆかりの弥山に登る人、水族館に行く人、波とたわむれる人、もみじ饅頭をほおぼる人、それぞれが楽しんだ自主研修でした。

コロナ禍でどうなるものかと思いましたが、1泊2日を無事に過ごせたことが何よりでした。文化発表会や入試に向けて、クラスのみんなの絆が深まっていれば嬉しいですね!

2年生「職場体験学習」



2年生は基山町、鳥栖市内の46事業所に分れて職場体験学習を行いました。

医療系、飲食系、保育系、販売業系など様々な職場で実際に仕事をするの大変さを学びました。

新型コロナウイルスの感染が心配される中ではありますが、各事業所様のご理解とご配慮により、無事に実施することができました。見たり、聞いたりすることも大切ですが、やはり経験に勝るものはないと思います。仕事をするの大変さややりがいを経験できたことは、これからの自分の進路選択にきっと役に立つことでしょう。ご協力いただきました事業所の皆様、本当にありがとうございました。

【事業所様より】

何事にも一生懸命に取り組む姿に、私達従業員も勉強させられることが多くありました。人と関わることの大切さ、仕事をする大変さを中学生の時に学ぶことはとても大事だと思います。

(ローソン基山小倉店様)

非常に助かりました。とても真面目な姿勢で見えて非常に好印象でした。ありがとうございました。

(ドラッグストアモリ基山店様)

【2年生感想】

1つ1つ繰り返す作業を丁寧にすることや、関わってくれた方々への感謝を大切にすることができるようになった。(中野恭花)

ありがとうございましたと言ったあとに、笑顔で振り向いて礼をして下さったお客様を見て「言って良かった」とやりがいを感じた。(春口愛良)

毎日元気や笑顔があった。一人一人の特徴で教え方を変えていた。よいこと悪いことの区別を教えてくれた。(坂口千歩)



「いらっしゃいませ～」



「救助訓練開始！」



「心を込めて・・・」



「基山駅構内放送中です♪」



「強さはどうですか？」(治療中?)



「大人気！」↑

1年生宿泊研修



1年生「黒髪少年自然の家」(武雄市山内町)で『2022チャンス研修絆』(宿泊研修)を行いました。

宿泊研修は、中学生としての心構えや学習の仕方を学びつつ、新しい仲間との親睦を深めるために入学式から間をおかず実施しますが、コロナ禍の中、4月での実施を見送り、2学期での実施となりました。

初日は、黒髪少年自然の家に到着後、入所式、昼食を終え、わんぱく大冒険を行いました。わんぱく大冒険では、1年生の本領を發揮してどのグループも精一杯楽しみました。体を動かした後は夕食です。自分たちでカレーを作りました。自分たちで作る野外炊飯はさぞおいしかったことでしょう！これで自分の家でもいつでも作れますので、ご家庭でもぜひリクエストしてみてください。ご飯のあとはゆっくりと・・・ではなく、学習です。真剣な眼差しに「家でもこれだけやってくれるといいなあ」と1年生の先生方が言われてありました。

2日目も学習会からスタートです。前日の夜に引き続き集中しました。学習のあとはウォークラリーを行いました。

台風を心配しましたが、天気はよく、予定通りに全ての日程を進めることができました。ほとんどのことを自分たちの手で行うことができ、2日間とはいえ、大きく成長できたことと思います。

この研修を通して、学年目標である、「チャンス 気づき・考え・行動し合おう」に近づくことができたのではないかと思います。今回の経験を研修の場だけで終わらせず中学校生活が終わるまでずっと続けてほしいですね。1年生の行動に期待しています。



「やればできるんです(^)v！」



「入所式」



「ロープ持ってるのわかります？」

「なかなかハードです」



「めっちゃうまいっすよ！」